

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索



滞納処分・差押問題東日本学習交流集会



11月11日に、東京社保協主催、中央社保協共催で「2018年滞納処分・差押問題東日本学習交流集会」を81人の参加で開催しました。

群馬弁護士会・消費者問題対策委員会委員長の吉野晶氏が「違法・不当な滞納処分～行政による過酷執行をなくすために、行政執行をチェックし

よう」と題して基調講演を行いました。講演は、吉野弁護士が代理人を務めた「国民健康保険の滞納による給与振込口座の給与振込日における預金全額差押」事件を中心に強力な権限を持つ自治体の職権乱用による滞納処分・差押えを許さない取り組みの報告です。自治体は、裁判所の令状なしで財産調査や家宅捜索も行うことができるなど、強力な権限を持っています。滞納者を「悪質」と決めつけて容赦なしで差押えを行うなど許されないと強調しました。

また、社会保険料の差押えでの相談事例や、差押え禁止基準を無視した差押え勧告などの事例を交流し、違法・無法な差押えをさせない運動を各地で進めて行く意思統一を行いました。

介護・認知症なんでも電話相談会を開催



11月11日「いい介護の日」に、8回目となる「介護・認知症なんでも無料電話相談」が全国15都府県で実施され112件（東京45件）の切実な相談が寄せられました。

相談では、家族介護の大変さや介護施設の職員が不足していて納得できるサービスが受けられな

い、利用する費用が高く預金を取り崩して利用している。など、深刻な相談が寄せられました。

また、18年目を迎えた介護保険の「利用方法がわからない」「相談する所がわからない」など、制度が機能していない、「介護の社会化」どころか「家族介護」が強要されている実態も明らかになりました。

この相談会には、東京民医連からケアマネなど9人の介護従事者や認知症の人と家族の会から2人、ヘルパー全国連絡会から3人、福祉保育労や全労連、全日本・東京民医連や東京・中央社保協など24人が参加して対応しました。



各地域・団体の取り組み

中野社保協



中野社保協は11月14日と15日、中野区との対話集会を開催し、2日間でのべ32人が参加しました。

様々な困難を抱える人たちの実態を区と共有し対話するため、経済的事由で受診が遅れ死亡にいたった「手遅れ死亡事例」や民医連・健友会の無料低額診療事業の利用状況などについて紹介しました。

14日は「貧困と生活保護」をテーマにして行い、生活保護の申請や利用がしやすいように、区のホームページの改善を求めました。特に権利としての制度であることを明記すること、スティグマが生まれないよう配慮することも求めました。これに対し区は、「2018年度中に改善したい」と回答しました。対話では、家族は「生活保護は恥となるので受けたくない」「老後のため貯めたお金を切り崩して親の介護費用に充てている」「見えない生活保護対象者はたくさんいる」と、当事者が発言しました。

就学援助では、制度は子どもの学習支援の底支えする大切なものであり、認定基準を10月の生活保護基準引き下げに連動させないよう強く求めました。

15日は「国保と青年の暮らしと仕事」をテーマにして行い、青年や子育て世帯への家賃補助を求めました。「非正規独身女性の生活も未来も大変苦しい、1万でも2万でも補助があったら生き

る希望が生まれる」「家賃は毎月払わなければならないし、給料の半分以上が持っていかれる月もあるから貧困層だけでも補助してほしい」と発言しました。区は、昨年まで否定してきた家賃補助について、「住宅マスタープラン改定の中で検討したい」と回答しました。

高すぎる国保問題では、自営業者の方から「国保料だけで年収の10%になる。なんのために働いているのかわからない」と負担の重さを訴えました。また、減免制度があることをもっと広報してほしいと要望しました。滞納による差押え問題では、一人暮らしの認知症の方で、催促状が郵送されてもわからなかったケースも紹介され、強引な処分ではなく、一人ひとり丁寧に相談にのるよう求めました。

(集会ニュースより)

町田社保協

10月10日、町田社保協は「町田市と高齢者の懇談会」を開催し、年金者組合などから17人が参加しました。

事前に町田市に対して、①医療関係、②国保と後期高齢者医療制度、③介護保険制度、④高齢者福祉制度等について要望を提出し、町田市からの回答を受けて懇談を実施しました。

「後期高齢者及び成人健診費用の無料化」の要望に対しては、「負担の公平性と健康意識の向上」のために負担をお願いしている。国保の「法定外繰入削減中止」の要望に対しては、法定外繰入を計画的・段階的に削減する。「均等割の軽減」に対しても、「出来ない」と回答しました。また、特養増設要望には、9月に1施設90床開設したので今後の予定はない。介護保険料の値上げをするなどの要望には、「基金の活用で上昇を抑えたい」と回答しました。

町田市の回答が長かったため時間切れになってしまったので、国保と介護については再度懇談会を持つよう申し入れしました。

(町田社保協ニュースより)

オスプレイ撤回横田集会



米軍横田基地にCV22オスプレイが10月1日から正式配備されたことに抗議する「横田基地にオスプレイはいらない10.27東京大集会」が、福生市多摩川中央公園で開催され約2000人が参加しました。

東京地評の荻原淳議長が主催者あいさつを行い、「横田基地の海外出撃拠点化に抗議し、横田基地へのオスプレイ配備撤回を」と訴えました。政党からは、日本共産党の宮本徹衆議院議員、尾崎あや子都議会議員が連帯あいさつ。立憲民主党、自由党、都議会生活者ネット、社民党から連帯のメッセージが寄せられ、全国組織を代表して、全労連の小田川義和議長が連帯あいさつを行いました。

集会では、第2次横田公害訴訟団や高校生平和ゼミナールで活動する高校生、頻繁にオスプレイが飛来する瑞穂町や埼玉県飯能市の市民など、多

彩な人が発言しました。

集会後、参加者は「日本のどこにもオスプレイはいらない」のプラカードを力強く掲げ、横田基地周辺をデモ行進しました。



オスプレイ反対東京連絡会は、横田配備の撤回と飛行・訓練中止を求める新たな署名運動を開始しています。この新署名への取り組みを強化しましょう。

都民要求対都要請

東京社保協も参加する都民生活要求大行動実行委員会は、10月31日（水）に対都要請行動を1日かけて、都庁第2庁舎1階ホールで行いました。



この要請は、事前に東京都に対して要請書を提出し、それに対する東京都の文書回答を受けたうえで、課題ごとに要請するものです。

東京社保協からは、医療、介護、滞納差押え問題で要請を行いました。

隔月刊 資料と解説

社会保障

冬号 2018 No.481

第46回中央社保学校に328人参加
地域からのたたかいを学び、交流
すべての地域に社保協を!

憲法25条を守り、活かそう! —10・25中央行動—
社会保障・社会福祉は国の責任で!

あけび書房

「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる!役に立つ!学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読 (年6回) 3000円 (送料別)
- 1部500円 (送料別)
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



巣鴨駅前「4の日」宣伝行動



11月14日、東京社保協・中央社保協が共催する「4の日」宣伝行動が、巣鴨駅前で12時～13時の1時間行いました。

この行動には、全体で27人、東京社保協20人（東京土建14人）、中央社保協7人が参加して署名・宣伝行動を行いました。

当日は、12月16日に行われる「滞納・差押えホットライン、無料電話相談」の宣伝もあわせて行いました。

当日は、署名ハガキ付きティッシュを約2700個を配布し、署名が63筆（25条55筆、国保4筆、9条4筆）集まり、介護・年金相談には4人が訪れました。行動参加、大変ご苦労さまでした。



2018年東京母親大会

日時 12月9日(日)10時～16時

会場 たましんRISURUホール

JR中央線・立川駅徒歩13分

主催:東京母親大会実行委員会

「4の日」定例宣伝行動

・12月14日(金)12時～13時
巣鴨駅

・1月14日(日)11時～13時
巣鴨地蔵通り商店街入口

主催:東京社保協・中央社保協

税金・国保料滞納・差押え 無料電話相談

相談日 12月16日(日)10時～18時

フリーダイヤル

0120-110-458

**主催:東京社保協
共催:中央社保協**

憲法を守り、いかし、地方自治がいきるまち 東京を 東京地方自治研究集会

日時 12月9日(日)9時半～16時半

会場 明治大学(駿河台)リバティータワー

9時半～ 全体会

記念講演:岡田知弘氏
京都大学大学院教授

13時～ 8分科会・1講座

主催:集会実行委員会